



三田高校上空よりの航空写真

写真提供：恵雅堂出版（新宿区原町）

わかば

ワカバ会

44号

創立70周年記念号

東京都立三田高等学校
同窓会

社団法人 ワカバ会

〒108-0073 港区三田1-4-46

電話 (03)3451-0227

FAX (03)3452-4590

時間

午前10時～午後4時

休日

土曜・日曜・祝祭日



新宿新都心

三田国際ビル

三田高校



目次

会長挨拶	2
名誉会長挨拶	3
特集 70周年記念総会	4
先生方の近況	5
私の近況	6
PTA広報誌から	9
OB会連絡先	9
同期会・クラス会	9
OB会だより	10
支部連絡先	11
情報ひろば	11
ひろがれワカバのわ	12
決算・予算	13
理事会等報告	14
委員会報告	14
追悼	15
事務局だより	16
編集後記	16

会員の皆様へ

ワカバ会会長 小野 紘一

(8-13)



本年六月ワカバ会は創立七十周年記念総会を「東京ビッグサイト」のレセプションホールを会場にして、開催いたしました。約五〇〇名の皆さまが出席され、賑やかに楽しい総会となりました。これは会員の皆様と母校の先生方のご協力によるものと思います。

高校十五回の銅谷志朗さんの歯切れ良くユーモアを交えた総会司会により、総会の議事は整然と進行し、懇親パーティーも大いに盛り上がりしました。

なかでも、石井好子さん(第六・十三回)の特別講演は出席者全員の心にしみ込むものでした。ここに心から感謝いたします。

これから、ワカバ会は会員の皆さまのご協力を得て、意義のある事業を推進して参りたいと願っております。

七十周年記念総会を終えて

七十周年実行委員長

8-1 山口 謙一郎

過ぐる六月七日にワカバ会七十周年記念総会が、「東京ビッグサイト」で開催されましたが、当初の申込者数より若干減ったとはいえ、四六四名の出席のもとに盛大に行われました。内訳は第六高女卒業生一一七名、三田高校卒業生三二〇名、旧職員二七名でした。総会後、石井好子女士の楽しい講演に引き続き、懇親会に移り、終始和やかな雰囲気の中で、先生方を交えて皆で昔話に花を咲かせての誠に楽しい会となりました。福引きの抽選で最高潮に達し、無事終了することができました。総会の準備、当日の受付等に協力頂いた、理事、事務局、本年卒業の皆様、そして会を大いに盛り上げて下さった、司会の銅谷志朗氏(高校十五回)に厚く御礼申し上げます。

元気をくれた石井好子さん

19-3 石川 真穂(木村)

行ってみたかったですー東京ビッグサイトへ。しかも石井さんのすばらしいお話が聴けて、何だかこの日を境にすっかり心の洗濯ができた感じがします。背すじをピンと伸ばし、キラキラ輝くまなざしで、会場を埋めた聴衆に淡々と語りかける石井さんの姿とお話は七〇周年記念総会を飾るハイライトでした。

何事にも正面から挑戦し、近い身内の方が危篤の時も無心に歌い通して、二、三十人もの人の涙を誘うほど、心を打ったそうです。

アメリカで、フランスで、また日本で、五十三年にわたって歌で人の心を魅了してこられた足跡は、まさに講演の題名どおり、限らない想いを歌に託したご自身のすべてを現していると思いました。

第六のスピリット

「生きる力」

19-ア 橋本 勢津(菊池)



ワカバ会創立七十周年記念総会に出席して石井好子氏の講演を拝聴、丸山先生の教育方針の一つ「生きる力」に感慨を覚え、沼部の農園作業を思い出した。私は臨床医から岩手県保健所長になったが、地域の健康づくり活動として「食卓に緑黄色野菜を」提唱し村一、三〇〇世帯にかぼちゃ二株運動を実施した。村はかぼちゃ予算をくみ育苗、全戸に苗を二本ずつ配布、子どもと家族と共に植える。子どもは自分で植え収穫したものは自分のものとして食べ、育む心、収穫の喜び、天地の恵を知る。秋に美味南瓜四千六百個も収穫する。ロンドン大学の評価は公平公正な良い活動、またJICA、JOICFPの職員と共に開発途上国政府十六カ国の方もみえ、本国でも実施してみたいとのことであった。第六のスピリット「生きる力」は、各人に広くうけつがれている。

講演中の石井好子氏



創立70周年 総会

レセプションホール

先見の明

ワカバ会名誉会長
三田 高校校長 岡本 裕之

七十周年記念総会が未来都市を思わせるようなビッグサイトで、大盛會裡に催されましたこと、大変嬉しく思いました。

本年度の卒業生が、生き生きと案内係として活躍している姿も頼もしく感じました。

七十年の歴史を振り返って、初代丸山校長先生の慧眼の深さを改めて感じました。それは、当時、生徒に生きた英語に触れさせようと、生徒の有志に「東洋英和」校へ行かせたということでした。自校の生徒を他校で積極的に学ばせるといふ発想は、なかなかできないことです。

しかし、本年度より自校以外で学んだものを単位に認定することが幅広く認められることになりました。

これからは、大学でも高校でも学校間の交流が、より進展すると思います。



ワカバ会 記念

平成10年6月7日(日)
東京ビッグサイト

特

集

プログラム

総合司会

高15 銅谷 志朗

一開会

高29 平山 孔嗣

一校歌

指導 高4 桐生 郁子

一會長挨拶

高8 小野 紘一

一名譽會長挨拶

学校長 岡本 裕之

一新旧客員の紹介

教頭 石井 隆夫

一議題

平成9年度決算ならびに事業報告

監査報告

高15 笠原 俊也

平成10年度予算ならびに事業計画

一閉会

高15 笠原 俊也

特別講演会

高29 平山 孔嗣

「限らない想いを歌に」

第六ー13 石井 好子

一親睦パーティー

実行委員長挨拶 高8 山口謙一郎

乾杯 前会長 高5 若菜 允子

福引き会進行 高7 中村左都子

ワカバ会の未来に向けて

ワカバ会前会長 若菜 允子

ワカバ会創立七十周年記念総会が多数の会員の参加を得て盛會であったことはうれしい限りです。

今回の記念事業の特長は、小野紘一會長と山口謙一郎実行委員長の指揮のもと、理事、事務局が若い感覚で計画したことだと思います。開催場所が「ビッグサイト」に選定されたのも斬新な発想でした。広々とした新都市空間での記念総会は、ワカバ会の新しい出発を予感させるものがありました。

また、石井好子先輩の記念講演によって三田高校の良き伝統を知り、岡本裕之校長先生のお話によって三田高校の現在の姿を知ってあらためてワカバ会の歴史の重みも感じました。

銅谷志朗会員の見事な司会によって、参加者全員がワカバ会の伝統と未来への活力とを同時に受けとめることができたのではないかと思います。

創立七十周年に想うこと

1-D 秋山 初枝(秋山)

昭和六年五月、教員免許状を頂きそのご挨拶に母校職員室に伺った際、計らずも初代校長丸山先生から「病氣欠勤中の先生の代行をするよう」にとのお言葉を頂き、八月三十一日付で採用

され、家事科を担当することになりました。大正十二年四月府立第六高女に入学以来、昭和四十二年五十八歳で退職するまで人生の大半を三田高校と共に過ごし、古い言葉ですが因縁の深さをつくづく感じます。

今はない、同窓会館での皆様との語らい、音楽会その他の催し、ワカバ会家政科の授業。保育園、軽井沢山荘のこと等々思い出は尽きません。

七十周年の祝典に出席し永年のご交誼に感謝し、母校並びにワカバ会のご発展を祈ります。

七十周年記念総会に参加して

50-2 井上 幸子

六月にしては肌寒い日にもかかわらず、第六高女の卒業生の方も多数参加



され、元気にお話をされてる姿を見て、ただただ感動するばかりでした。懇親会では多くの先輩方と話す機会にめ

ぐまれ、当時の三田高の様子の話を聞けたりと、楽しい時間を過ごすことができました。記念すべき七十周年のワカバ会総会に参加できたことは、三田高の卒業生として、誇りに思います。卒業生だけが参加できるひととき、現役生の方にもこの先是非参加してもらいたいと思います。

七十周年総会に出席して

1-C 倉田 君恵

会場には孫や子のような年齢の方が多く、浦島太郎になった気分でした。

小此木先生におめにかかれたのが最大の喜び。恩師がいままでもお元気でかくしゃくとしておられて感激しました。石井好子さんの講演は感銘深く聞きました。私は同氏が第六高女を受験される際、短期間ですが勉強をみてあげました。その頃から才気煥発な兆しがみえましたが、その後の同氏の歩みは困難にあっても歌うことを忘れずにのりこえたと話されましたが、そこに私は「第六魂」の持ち主だと感じました。また内に重厚なものを秘めている者は機会があれば立派に開花するものであると。石井さんがその資質の上に本格的な音楽を学ばれた上で歌の真髄を表現されることが、外国の人にも高く評価され、歌手の生命も長続きするのだと感じました。今後とも健闘を。

素敵なひと

10-C 大橋 鎮子

石井好子さんのあたたかくてやさしい声が会場に流れ、小此木慶先生、秋山初枝先生の変らないお姿もあって、私の第六時代の遠くなった日々が、つぎつぎ思い出されました。

学期末の試験がなく、席次もなく、あたたかい学校でした。私が『暮しの手帖』を発行出来たのも、その、第六三田高校のあたたかい校風が、私を助けてくれたと思います。

石井さんがフランスから帰国され、パリでのたのしそうで、おいしそうなお話をうかがい、そのお話を『暮しの手帖』に連載していただきました。それを『パリの空の下オムレツのにおいは流れる』という本に作りました。

もう三十年も売れつづけています。好子さんのあたたかい人柄。その背景の三田高校、第六に学んだことを、私は誇りに思っています。

忘れのこりの記

三田高校教諭 菊地 宏義

ゆりかもめに乗り、ビッグサイトなるものの中で、石井好子氏の顔をみながら話をきく、すべて初めてだった。つまり「ワカバ会幹事」のアイデアどおりの、絵にかいたようなミーハー参

加であった。

最初にすごいなあ、と思ったのは、第六高女の同窓生で集まると、皆背筋がシャンとして若い、これが他の同窓会に行くときともそうはいかない、と人々を笑わせた。以下どうしてそうかと学校時代の話をした。うなるしかない話術だ。それから本題に入り、子ども時代の音楽との出会い、反発、そして楽器より音楽に向かう話をきいた。次に覚えているのは、音楽学校(現芸大)時代、学徒出陣で戦争のために、声をだめにした学友の話をさりとした。他の人は知らないが、実は私はここが一番忘れられない。確かな記憶はないが、本題とは特に関係はなかったように思う。だからだろうか、それとも私が社会科の教師だからだろうか、それはわからないが、石井さんはこだわっていきいたいということなのだ、と

思っ、私は熱くなった。

次は、敗戦後の日本から、ヨーロッパへ勉強しに行き、帰国してからの活躍などの話となっていた。「死して亡びざるは寿」という老子の言葉も、会場の人々には印象に残った贈り物になった気がする。時間どおりに終わった時、よき音楽や料理を味わったような気になった。そうか、後ろに楽団がいなかっただけで舞台と同じなんだと気付く。出口でCDと『私』を買っ

た。講演とこの本でいい時間を過ごせた。感謝したい。これは感想ではない。不精者の忘れ残りの記である。

70周年記念総会会計報告 (円)

収入	2,582,000
総会費	2,500,000
祝金	82,000
支出	3,923,399
会場・パーティー費用	2,581,005
会員記念品	477,000
賞品	187,560
保険料・その他	677,834



先生方の近況

(敬称略・順不同)

化学・小此木 慶

過日はワカバ会創立七十周年の会にお招きいただき有りがとうございました。健全に御活躍していらっしゃるお姿を目のあたりに拝見して心強くうれしく感じました。私もこの高年齢まで生きることができたのは主治医の先生の適切な御指導と家族の者の温い介護のお蔭と感謝しつつ日本の国民がそれぞれの持場に於て安心して清く正しい生活が送れるよう祈りつつ毎日を大切に生きています。

数学・荒井 淳雄

私の教員生活の中で、三田高校での十三年間は一番充実した楽しい月日でした。現在は、市川市にある昭和学院短期大学で週四日教えています。若い娘を相手に元気に過ごすとともに、春や夏の休みに海外旅行を楽しんでいます。

三田高の卒業生との交流も多く、毎年一月三日には三田高関係者で我家が溢れるような状況になっています。

社会・齊藤 源三郎

三田高校での帰国生指導担当を契機に開設要員として転動した国際高校でもずっと帰国生受入れに関わり、93年同校を退職後も「海外子女教育振興財団」(虎ノ門)の教育相談員になり六年目になります。子供を帯同して海外に勤務する家族の教育問題に取組む事に生き甲斐を感じております。現地の教育事情、帰国後の進学・編入学、日本語の習得など守備範囲も広がりました。

校長・古松 彰

この夏、ノールウェーのフィヨルド観光に行きました。電力や山羊のチーズの安価な国です。ホテルには浴室暖房が多く、洗濯物は一晩で乾きます。社会保障完備の為に、貯金意欲はほとんどなく、現在を楽しんでいます。消費税二十三日も気にしていません。馬車での水河見物は最高でした。

総会の返信はがきより

家庭・大日方 ヒロ

私は昭和十五年から十九年までお世話になりました。遙か昔になった第六高女時代を懐かしく憶い出しております。お蔭様で何とか八十七の齢を重ねました。益々のご発展を、祈り上げます。

地学・簗田 裕一

昭和五十九年四月、白鷗高に異動、平成六年三月、白鷗高で定年退職、現在、都立足立高にて嘱託として勤務しています。三田高の生徒ひとりひとりが宝石だったと今でも思っております。益々お互い切磋琢磨し、輝いてください。

仏語・品田 一良

昭和二十八年、三田高仏語講師で始まった教員生活も、来年、早大文学部定年で、幕をおろします。オセンチ山のつつじが、いまなお目に浮かびます。

体育・和田 米郎

元気で何となく毎日を過ごしています。月に二回平均で、山小屋に行き木の植えかえをしたり、石の置きかえ等庭仕事をするのを楽しみにしています。

用務主事・里見 征子

昭和五十八年四月一日〜六十年四月一日迄の三年間、全日制でお世話になり、平成十年四月一日から定時制に在職しております。定年を一年後に控えておりますが、生徒さんの環境整備の為に頑張っております。二度目のご縁を大切にしたい気持ちで、いっぱいです。

保体・森本 素子 (五十歳)

六月末に初めての結婚記念日を迎えますが、ちょうどその頃出産の予定です。仕事が楽しく毎日跳び回っていた三田時代を懐しく想い出しています。現在の、何気なく穏やかな毎日、とても幸せなものだとしみじみ思っているところです。

数学・広瀬 昌一

すきな計算をすること、孫に絵本を読んでやることぐらいが日課といえるでしょうか。

教頭・井上 清志

平成五年、三田高校を最後に、定年退職して第二の人生に入り、六年目を迎えました。相変わらず、中高一貫教育の私学に週四日出かけ、数学教育に従事しています。

事務・吉岡 基代

四十年程前の三田高校をなつかしく思い返させていただいております。現在、地域において、ささやかなボランティアを元気につとめさせていただいております。



私の近況

明るい未来のために

10ーア 猿橋 勝子



第六高女

を卒業し早
六十年にな
る。校長

丸山文作先

生、数学・物理を教えて下さった安河内次雄先生にお会いし私が科学研究の道に進む初めのきっかけが与えられた。東邦大学理学部を卒業後、三宅泰雄教授という素晴らしい科学者の下で研究者への道をひたすら歩んだ。これから、化学研究の世界で生きて行きたいと思う。実力のある女性科学者が育成されることを望み気象研究所退職時に「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」を設定した。多くの先生のご指導・ご協力で本会も発展、来年は創立十九年目を迎える。立派な研究業績を上げた優れた女性が学界で活躍していることを、世の多くの方に知ってほしいと思う。それが男女を問わず、若い方への刺激となり、科学への関心を深め、科学者を志す若人が増えることを期待したい。

三田高ありて

39ー1 磯野 晴美



本をつくる仕事に就いて七年余、この春携わったのはCD-ROM付の現代日本語情報辞典で、社会事象、自然科学、コンピューター用語、人物ほか掲載事項は多岐にわたる。環境ホルモン、ビッグバン、ヒトゲノム計画等の語に時代を感じた。仕事をしていて痛感するのは、高校時代に学んだ知識がベースとなり、校正その他に大変役立っているということである。

ある日のこと、書架にぎっしり並んだ種々の辞典の背文字を眺めつつ作業を進めていると、ふと英語のF先生の提唱された「辞書は友達、予習は命」という標語が頭に浮かび、懐しい授業風景が蘇ってきた。静かなフロアのなか、こみあげてくる笑いと戦いながらあの幸福な三田高時代を経て現在の私が在ることを思い、お世話になった先生方に深く感謝する一幕であった。

数理文献学

20ー6 大室 諭



最近の家業の寺の仕事のかたわら、大正大学でコン

ピューターを教えています。専門は数理文献学といって、経典を数理的に解析するというものです。今までは自分でこつこつと研究していたのですが、最近の情報関連教育への必要性から、大学で教えることになりました。

しかし、数理文献学といっても、多くの学生さんが興味を持ってくれるような学問ではありませんから、ワープロとか表計算、データベースなども教えています。近ごろの学生さんは勉強をあまりしないという方も多いようですが、コンピューターに関してはおおむね熱心に勉強してくれています。

私はアメリカンフットボール部のOB会長もさせていただいていますが、なかなか時間が取れず、現役選手との交流が十分できないのが悩みです。

私の近況

19ーエ 茨木 万理(茨木満璃子)

デスクの中に、昭和三十八年七月一日付、都知事 東龍太郎の名の「社会保険委員」の委嘱状とバッジが入っています。いつの間にか、三十五年も社会保険委員を勤めている。ということですから。アンチョコを頼りながら。

零細企業——家業だから、親の始めた商売だから。その一翼を担う、などという気負いはさらになく、目の前のできる範囲のことを続けて来たただけ、肩書こそ役員ながら何でもいたします。町の小さな会社なんて、そんなものなのです。世間並以上の不況の風の中、周囲の人達に支えられながら。



ワカバ会の会計委員としてもお手伝いさせていただいており、これが仕事の性質は別として、私の日常をはずれた部分での世間との接点で、一種の気分転換の場にもなっているようです。

「私の近況」は、今号、卒業回数末尾0と9の方に原稿をお願いして、シリーズ最終となりました。お忙しい中、原稿をいただいた皆様、深く感謝いたします。来年秋号は、新しい企画を考え、内容刷新したいと思っています。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

大和、万葉の花慕情

20-1 綿村波瑠美(吉武)

あの悪夢の様な大震災より三年半が過ぎ、我が町から緑が消えました。

震災前から、私は月に一度、「国のまほろば」大和へ万葉の花を訪ねます。

震災後、漸く電車を通り、奈良に近づくにつれ、窓外の長閑な景色を見た時の感激は、今でも忘れられません。

奈良は、昔のままの道も多く、足下に咲く可憐な小さい花、古い土塀にからまる蔓草、広い野原や、お寺の境内の庭も、四季とりどりの花が咲き乱れます。此の豊かな自然の中で、万葉人は、花を愛し身近なものとして、心の想いを花に託し、おおらかに高らかに詠っております。

大和の自然の中に立ち、花々と語り合う時、思いは遙か千三百年を遡り、現世を忘れ、心、和やかに安らぎます。我が町、神戸の復興を希いながら、又々、花達が待つ大和へ、いざ行かむ。

始末人稼業も創造的

9-4 市岡 康子

テレビドキュメンタリーの制作会社日本映像記録センターの二十七年間の成果をまとめ、大袈裟に言えば「後世に残す」ことにかかわっています。会社というより文化運動体のようなものでしたが、その中心だった牛山純一を

昨秋失い、設立メンバー最年少の私どもが発着して事に当たっています。第一に主要作品を「牛山記念ライブラリー」として龍ヶ崎市と川崎市で永久保存、一般公開すること、第二に国際配給により世界中に成果を発信することに重点を置いています。「番組制作に未練があるのでは？」ときかれますが、三十年間制作ひと筋で存分に働かせてもらったせいか、これが年齢相応の責務であると思え、自身のテレビ人生の総括にもなることをむしろ喜んでいきます。仕事の傍ら、前期は上智大学で連続公開講座、後期は武蔵野美術大学で教えてもいます。

私の近況

30-3 青山 真司

今年三月、長年住み慣れた東品川の地から、南大井に転居しました。

警視庁に行政職として勤務して今年



で十五年目になり、器用貧乏が幸い?(災いかも)してか、ワンセクションの在籍

年数が平均二年弱というモーレツなスピードで、異動を繰り返しています。あるときは会計マン、またあるときは雑誌の編集者といった具合で、最近ではニュースキャスターまがいの仕事までやりました。

おかげで退屈する暇がありません。現在は、総務部の企画課というところで、文書管理関係の仕事をしていきます。

そろそろ成人病が気になる年齢になってきましたが、月一ゴルフでは、ここ数年着実に続いているお腹の成長は止まりそうもありません。

那須地域の林の中から

29-7 佐藤かおり(増田)



四年前に開業した小動物専門の動物病院も何とか安定し、静かな

林の中で四季折々の景色をながめながら暮らしています。東京で生まれ育った十八年間、どうも都会の動き(速さ)になじめず、北海道の田舎の大学へ行きました。結婚して夫の勤務先のここ塩原町に住み始めて十五年です。自然の移り変わりと共に一日一日を過ごしてゆくのが、私には合っているように

す。(時々学会や勉強会で東京に行くのですが、その度人の数に圧倒されています。皆、息を詰めて一生懸命歩いているような感じがです。)そんな中、那須地域に国会を!!と県知事が声を上げ、地元は賛否両論、揺れています。食料生産地を潰してまでも必要なのかどうか、国民的議論がない中で、地方行政の誘致運動は進んでいます。私は、私の生きていく地域を守りたいです。今夏(八月三〇日)反対運動の代表になります。

三人家族になりました

40-3 森島 則子(須藤)

主人の仕事の関係で、一昨年の夏からインドネシアのジャカルタに住んでおりましたが、今年五月の異動で帰国となりました。昨年十月に現地で誕生した長男が加わり、三人家族になったの帰国でした。

初産で、しかも外国での出産でしたので、周りの方々にご心配をおかけしました。が、出産の前後には母が来いし、主人も出産に立ち会ってくれましたので、心細くはありませんでした。インドネシアの人は子供好きで、妊婦や子連れの母親にとっても親切です。また、南国なのでオムツもすぐ乾き、赤ん坊も薄着で大丈夫です。初めての子育てにはよい所だったと思います。

今回は逃げるように後にしてきたジャカルタですが、長男に生まれた国を見せるため、いつの日か再訪するつもりです。

私の近況

9-1 オ 藤野 櫻子(大木)



傘寿の今年はワカバ会七十周年記念総会があり、講演・昼食会・福引きなどで盛り上

がり、小此木慶先生は昔の娘たちかわいやと私達と列席され、懐かしい先生方や幼友達との再会で幸せを頂いた年です。

昭和六年入学、室内プールを持つ素晴らしい同窓会館で競泳、踊りなどで沢山の仲間がいる楽しかった日々が今の私を支えています。耳の遠い九十一歳の介護するのに、大きな声を出して話をするのがこんなに疲れるとは考えられず、またときに怒っている？

といわれ反省ばかりしています。若い人達は自分の生活に忙しく、暇な年寄りには相手にされないから寂しい

だけなの。優しい笑顔をむけてくれるだけで満足なのです。忘れないで欲しいわ。ご機嫌よう。

歌と踊りと

ト素人ミュージカル

19-3 狛 雅子

「チビで小太り」という、「完全なるオバサン体形」の私が、何故かタツプダンスに惹かれて習い始め、もう五年になります。覚えは悪いし、若い人達の感性には敵いませんが、「楽しく踊れば、それだけで満足」なのです。仕事の後、週に二回30〜40分程度の個人レッスンは、ジム通いと同じ感覚で、汗ビッシヨリになります。ノリの良い曲に心も弾みます。

音楽は月に二回ですが、最近は一アにも挑戦。十四歳の乙女の気持ちになったり、小鳥になったり、変身ごっこが楽しめます。これらを活かして、ここ何年かは職場の若い連中と一緒にクリスマスミュージカルを上演しています。曲と出演者にストーリーをこじつけ、ごまめの歯ぎしりですが、私なりに今の政治や風潮に対する、自分の意見を表明するのも楽しいものです。

(ただし、選曲や理念と演奏・演技の実力がかけ離れていて、ドタバタ学会にしかならないのが「悲しい」のです……)

自然の中で

10-3 甲斐田 生嗣

今年一月、大分市へ移り住みました。大分の地は山、川、海と自然に恵まれた所で、緑も多く食べ物も豊かなとても暮らしやすい所です。'94年に東京に戻るとの間二十二年間は、大分での勤務でしたが、都会暮らしを四年してみても、やはり将来は九州で暮らそうと決めましたので、まだ早いかなとは思いましたが大分に移って来てしまいました。通勤は車で十分と楽すぎて運動不足になりがちなので、休日は庭の手入れ、好きな釣り、ゴルフ、温泉やドライブにとこれからも楽しむつもりです。

'95年に三田高卒業以来初めてのクラス会で同窓の皆さんと会うことができ、とても懐かし、その後も時々クラス仲間と会う機会がありました。これからはあまり会えなくなると思うとちょっと淋しい気もします。また二年前よりコントラクトブリッジを始めたのですが、こちらではする人が少ないのでブリッジの普及に努めてみようかとも考えたりしています。これからは今まで通りサラリーマンを続けようか、SOHOを始めようか、いずれにしても一年程かけて将来設計をしようと思っています。

私の近況

49-4 田中 祐子



私は現在、大学で日本文学を学んでおり、特に近現代文学を専攻しています。長年の夢であった大学生活も、はや二年が経とうとしており、同じく文学を好む友達と過ごす毎日、非常に魅力的で有意義なものだと実感しています。けれども、こうして今大好きな大学で過ごしていると、白珠祭や体育祭といった行事は、高校時代ならではのものだったと懐かしく思いますし、また受験時代に、それぞれに自分の夢に向かって頑張っていた友達がいつも近くにいてくれたことを思い出します。将来について、今よりもっと模索していた当時を思い出すと、懐かしさのある種の感傷とが同時に込み上げてきます。私にとっての高校時代、三田で素敵な仲間に出会えたことが何よりの財産です。これからは三田高校のますますのご発展を期待しています。

P T A 広 報 誌 か ら

各界でご活躍の会員の皆様のうち、三田高校PTAからの依頼により、講演会の講師、座談会、PTA広報誌への原稿等、ここ15年程の間に御協力頂いた方々です。

(敬称略。() 内は旧姓 < > 内はペンネーム・芸名)

講演会の講師

1983～1988 萩野 靖乃 8-4
 中西 房枝(鈴木) 10-3
 石井 好子 13-1
 猿橋 勝子 10-ア
 1989～1993 大橋 鎮子 10-オ
 徳山 圭子 15-ア
 春名 殷子(加藤) <入江曜子>
 5-1
 田村 和子(大脇) 10-5
 大山のぶ代 4-6
 1994～1998 銅谷 志朗 15-6
 岡山 陽子(森本) 20-3
 生田 典子(五上) 6-4
 酒井 秀夫 22-6
 斎藤 恭一 24-5

PTA広報誌の『卒業生は今』で原稿を依頼

1983～1988 若菜 允子 5-4
 小野 紘一 8-3
 佐藤ギン子(柳沢) 5-4
 三浦 太郎 25-4
 福岡 淑栄(伊藤) <英 りお>
 33-1

塚越 裕爾 32-4
 松本 好永 36-3
 1989～1993 有澤 博 19-6
 玉木 昭子(佐藤) 14-1
 山口謙一郎 8-1
 池田 敦子(下川) 12-5
 阿部 裕行 19-4
 内海 房子(栗原) 19-6
 脇田 直枝(上田) 7-6
 榎本 良輝 15-4
 成田 禎介 9-6
 中村左都子(本多 慈子) 7-2

1994～1998 平山 孔嗣 29-2
 及川 裕子 30-1
 大橋 鎮子 10-オ
 三輪田 真 22-6
 田中 浩 32-5
 高木 裕子 45-1
 豊口 陽子(中戸) 8-2
 内山富士雄 21-6
 堀川美智子(木島) 18-6
 土谷 良巳 21-7
 関根 誠<柳屋小袁治> 19-5
 阿部 眞弓 24-7

: P T A 広報誌掲載年次順

上記の皆様、御多忙の中を誠にありがとうございました。今後も、会員の皆様の御協力をよろしくお願い申し上げます。

OB会連絡先 (ワカバ会まで連絡いただければ、次回より掲載します)

部 名	代表者又は連絡係	卒業回数	〒	住 所	電話番号
アメフト	大室 諭(照道)	20-6	141-0021	品川区上大崎 1-5-10	3441-8384
三籠会(バスケ)	篠根 章高	6-4	179-0075	練馬区高松 6-12-3	3996-2674
ラグビー	永井 太郎	15-3	358-0054	入間市野田 921-1	0429-32-8060
バドミントン	江口 洋平	43-8	140-0011	品川区東大井 4-8-10-605	3450-1176
弓 道	石井 健一	42-8	143-0013	大田区大森南 3-26-3-102	3741-9776
管弦楽	高橋 大輔	44-3	140-0004	品川区南品川 5-16-14-508	3450-5481
バレーボール	佐藤 大悟	47-2	144-0055	大田区仲六郷 4-13-10-106	3733-1326
水 泳	高橋 寿也子	48-3	142-0064	品川区旗の台 1-2-14-403	3781-6202
卓 球	横堀 和歌子(佐川)	20-7	146-0092	大田区下丸子 3-10-1	3757-2273
フォークソング	和田 典也	33-4	108-0074	港区高輪 2-1-11-611	5448-9065

同期会・クラス会・OB会だより

歴史を感じます

- 16エ 酒井 周子
- 16エ 永島 弘恵(馬場)
- 16エ 池田 陽子(矢島)
- 16エ 柴田喜美子
- 16エ 白戸 澄子(見須)

昭和十三年四月、名門府立第六高女のあの入試の難関を突破して、以来OB会の皆様と共に戦中・戦後の日本を歩んで来ました。毎年クラス会をもちております。長田さんは(16エ)、阪神大震災で被害にあい乍ら、平成七年六月のクラス会の幹事として、熱海の会場



(写真)の会場
当日も出席された。岡村さんは毎年奈良市より出席されるファイターぶりで

11回7組クラス会をして

- 11エ 南原 久子(美濃部)



七十周年記念祭にあやかり、幹事さん達のおはからいで、東京ビッグサイト会場にて、四十年振りの出席者、名古

出席者も加わり懐しき十三名の面々が久々の旧交を暖め合いました。同期の方々、大先輩の御母上様も御一緒に御馳走の後のお茶を楽しみ二十名程となりました。

五十八年の人生の山坂の途中で出会ったオアシスにも似て、次回のクラス会を楽しみに名残りを惜しみました。

故担任尾原演子先生、亡き友秋野政子さんも、きっと笑顔で見守って下さった事でしょう。

四十四年振りの再会

6エ5 飯山 精三

ワカバ会創立七〇周年記念総会・懇親会の会場にて、我々第六回生は、さやかな人数ではありましたが、円いテーブルの一つを囲みました。

卒業した年の昭和二十九年以来、初めてお会いする方もおられました。そこはそれ、同期生の良さで、年月は忽ち四十四年前に遡り、大いに歓談し四方山話に花を咲かせました。



惜しむらくは時間の短かったこと。再会を期待しておひらきとしました。

一年三組のクラス会

5エ3 仲村 順二

平成九年十一月八日、四十八年振りに「一年三組」のクラス会が「新橋亭」で開かれました。普通は卒業時のクラ

ス会が多い中、入学時のクラス会は少しめづらしいと思われるでしょう。

私達は昭和二十五年三田高校入学で男子生徒は第一期生で、女子高校に「男」が初めて入学するという事で学校も生徒も夫々に緊張と関心をもって入って来た訳です。その時のクラスが一年三組で、担任は化学の若き男性教師、篠崎善治先生で、あだ名は「カーボン」。その名の通り色黒で、情熱溢るる先生で非常にまとまりのよいクラスを作って下さいました。今回のクラス会には二十一名の参加者があり顔を合わせた最初の瞬間は、お互いに指をさし合っ



て口をパクパクでしたがすぐ六十三歳の三田高生にタイムスリップし、楽しい一夜を過ごしました。

二十三回目のクラス会

26エ2 坂本 明日香(広瀬)

「ではまた来年。」と別れ、次の年には昨日会ったかのように自然に話に

入っていく。今年もお元氣な土屋裕先生を迎え、六月二十八日、シャトー飯店でクラス会を開きました。

忙しい盛りの年齢、出席者も決して多いとは言えませんが、久しぶりの顔、クラスを越えての顔もあり、毎年開く会ならではの良さもあります。

クラスノートも黄ばみ、来年は卒業二十五周年、宮川健郎氏、大根田(桶川)悦子氏二人の永久幹事のお蔭でここまで来ました。

ドアを開けると懐かしい三年二組。沢山の方の出席を願って、また来年。

大正生まれの第六高女生

7ーA 上田 千鶴(国枝)

七回A組のクラス会はずっと越井様に押しつけて、昨年秋季には宮下様と、新宿東口のレストランで催して下さいました。十一月六日、八十歳も越した昔の女学生は、一堂に会し、あの顔の顔、昔の面影を見出し、それはそれは懐かし、嬉しかったひとときでした。(出席の方は久米様、越井様、後藤様、竹内様、美野様、宮下様、上田、蓮見様、計八名でした。)今年の六月にはまた増えて出席がありましたそうです。高齢でも元氣であれば、会合する意義がむしろ若かった時よりも有るように思います。お互に白髪頭で補聴器もつけて。何時まで、あと何回

位お会い出来ますか。丈夫で頑張りましょう。

クラス会だより

14-2 若松はつほ(藤巻)



私達十四回生の二組は、女子のみ四十九名のクラスでした。昭和三十七年に卒業し、五十七年に卒業二十周年を記念してクラス会を開いて以来、必ず二年に一度都内及び近郊のどこかで、昔のクラスメートが集

い旧交を暖めています。

今年もワカバ会七十周年総会の場をお借りして集まりました。その席に三十八年も前に化学を教えていただいた小此木先生がお見えでした。九十七歳にして尚お元氣な先生にお目にかかれて、一同大喜びで一緒に写真を撮らせていただきました。私達も先生にやかつていつまでも元氣でクラス会を開きたいと思いました。

山本悦子先生を囲む会

18-1 植田 夏子(金野)

高校十八回生で、山本悦子先生に担任して頂いた、二年七組、三年一組の人達を中心に三十数名がホテル日航東京に集いました。先生は昨年の秋に、息子さんの住む山形市に引越されましたが、七十周年記念総会に出席なさると伺い、是非その日にクラス会をという事になりました。三十年ぶりのクラス会でしたが、遠く米国からの出席もありました。級友とは本当に不思議なもので、会

えばすぐ昔の友達同志になって、全く時の経過を感じず話せます。高校生活の三年間がいかに人生にとって大きなものであったかを痛感させられました。「次回は米国でクラス会」という話も出て、実現させたいと思っています。



支部連絡先

札幌	5エ	臼居 和子	〒064-0917	札幌市中央区南17条西12丁目	011-561-8810
東北	7ウ	寺嶋 辰代	〒981-0411	宮城県桃生郡鳴瀬町野蒜字北赤崎32-7	0225-88-2028
浦和	18修オ	中村 泰子	〒336-0014	浦和市前地 3-5-12	048-885-7476
千葉	17-6	進藤英津子	〒261-0012	千葉市美浜区磯辺 6-6-10-304	043-277-3469
湘南	14イ	樋野 豊子	〒251-0047	藤沢市辻堂 6084	0466-36-3608
静岡	18修イ	田中 和子	〒420-0075	静岡市五番町20	054-252-8831
名古屋	22イ	野々山 敬子	〒458-0041	名古屋市緑区鳴子町 3-96-9	052-895-4366
関西	14エ	服部 久子	〒662-0951	西宮市川西町 3-8	0798-34-3018
京都	5オ	山田 啓子	〒617-0824	長岡京市天神 4-6-15	075-951-1477
福岡	2E	富田やす子	〒813-0015	福岡市東区香椎団地 27-21	092-661-3616
大分	4-4	山下 延子	〒870-0826	大分市城南西町 2A-27-2712	0975-43-4233

情報ひろば

◆新刊紹介

①『空と祈り』

著者：前坂和子（現姓 福田）（15-5）

発行所：東京美術 定価：1260円

三田高校一年の冬、死刑囚歌人・島秋人の短歌を知り、高三から教師になった年までの5年半文通を続けた。本書は30年前私家版としてまとめた往復書簡を公刊したもの。

②『まあ聞いて、医療現場のおもて・うら』（あけび書房・定価1700円）、『病院潰してなるものか』（勁文社・定価1600円）

著者：佐久友朗（佐久 昭 12-4）

佐久さんは限りなく優しい。大いなる理想を持って医者になり、臨床三十年。理想と現実の狭間でさぞ悩み多かったことと思うが、そんな苦労も何のその、今も夢を大きく膨らませ、その実現を目指す。病む人や年老いた人、看護する人のために……。著書にはこの間の悲喜こももが綴られている。読むうちに、ほろりとなったり、くすりとしたり、そして共に憤ったり。胸打つ話で満たされていて、読後は気持ちが和む。無事に生きている幸せをしみじみ考えさせてくれる本である。

（紹介者）西澤道子（中山）（12-4）

③『宇宙の果てにせまる』

著者：野本陽代（19-6）

岩波新書 定価：640円

宇宙の誕生から現在、未来について、最先端で研究する世界の百人以上の科学者に直接話を聞き、その人間模様も含めてまとめた宇宙論の現状報告。

◆26回生卒業25周年同期会

平成11年1月頃開催に向け動いています。

同期の皆様、宜しく願いいたします。

窓口：宮川健郎（26-2）Tel. 0422-28-6303

◆シャドーボックス作品展

日時：平成10年10月21日（水）～27日（火）

10時～19時30分

場所：阪急百貨店大井町店 5F

『私のアトリエ展』の中で展示。ニューヨークの技法を使い、5～10枚の同じ絵をカットし、重ねて立体的な絵に仕上げていきます。

期間中は、ミニフレームの小作品の講習会もあります。（注・作品例は今年軽井沢山荘に展示）
講師：秋田則子（読売文化センター大森）
連絡先：田澤恵子（26-1）Tel. 5460-8308

◆第27回加藤恭二子（旧職員）ソプラノリサイタル

日時：平成10年11月19日（木） 19時開演

入場料：4,000円 於 こまばエミナース

問い合わせ先 ワカバ会事務所

都立三田高校 戸田雅子（19-1）

Fax. 03-3453-2899

今年6月にはブラジル公演をしました。

◆三田高校OBオーケストラ第7回定期演奏会

毎年恒例となりました定期演奏会も今年で7回目です。どうぞ皆様お誘いあわせの上、ご来場いただけますよう、団員一同お待ちしております。

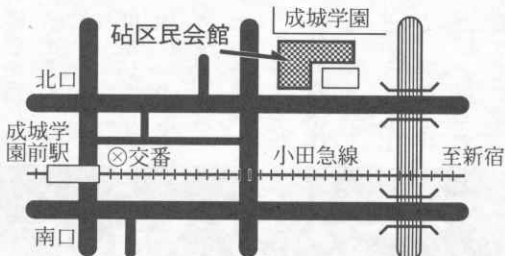
日時：11月23日（祝） 13:00開場

場所：世田谷区砧区民会館ホール

（小田急線 成城学園前駅下車徒歩2分）

曲目：モーツァルト 交響曲第31番「パリ」、
「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第一楽章他

お問い合わせ：高橋大輔（44-3）Tel. 3450-5481



◆村井弓道倶楽部創立10周年記念祝賀パーティ

日時：平成11年6月12日（土） 18:00～

場所：＜第一部 レセプション＞

恵比寿 103ガーデン

＜第二部 ダンスパーティ＞

恵比寿 クラブディスコ「ラスト」

参加費：T券＜パック＞

前売（限定50枚）10,000円 当日13,000円

R券＜第一部＞ 8,000円

D券＜第二部＞ 5,000円

☆T券のみ電話先行予約受付（一人2枚まで）

10/10（土）10:00～13:00 Tel. 3741-9776

☆一般電話受付（本人のみ）10/18（月）～

☆当日会場の都合上、定員（100名）になり次第
締切らせていただきます。

問い合わせ先：石井健一（42-8）Tel. 3741-9776

ひろがれ！ワカバのわ

ワカバ会行事に参加して

森の中の山荘の夏

4ーウ 石橋 礼子(石原)

4ーウ 山岸 月江(肥沼)

4ーウ 玉上智香子

(玉上千代子)

4ーウ 加藤 シズ(村田)

4ーウ 高柳 幸子(橋本)

朝五時頃

小鳥の囀り

に目覚め、

朝焼を見て

窓を開ける

と冷たい空

気 緑の木々

に囲まれ最

高に幸せな

気分になり

ました。

(石橋)

いつしか年を重ね八十四歳。でもお

蔭様で未だ丈夫でありますので今年も

楽しみにしております山荘参りに参

加できよろこんで居ります。(山岸)

朝焼けや新緑まぶし老ひし瞳に

万緑の香が肌を刺す旅の屋

級友と過去囁みしめる夏山荘

淡々と生きて行くさ夏帽子

(玉上)

思い起こせばもう三十年も昔の事。

私達のクラス会を山荘で開く事になり

今は亡き白根さんと私が引受け、申込

みや乗車券の買入れ等をいたしました。

当時の管理人さんが夕食の天ぷら用に

野草を採りに行って、馳走して下さった

事等楽しい思い出ばかりです。(加藤)

孫達の幼い頃、ここ山荘よりレマン

湖にかけ出して行った事を想い出して

おります。

冷の間に目覚む鳥声山の宿

連山が雲あそばせて峠道

(高柳)

友達的朋友は友達！

17-6

ウェルティンバー智恵子(諸星)

七月二十九日から三十日にかけて、

夏空に真白な雲が浮かびさわやかな高

原の風が吹く軽井沢ワカバ山荘にて、

加藤恭三子先生ご指導のもと「コーラ

スの集い」が行われた。総勢二十七名

初参加の私はわくわくドキドキ。夕食

後、別館でコーラスの指導が始まる。

「すみれ色の涙」「乾杯の歌」「禁じら

れた遊び」「平城山」。「フニクリ・フ

ニクラ」は先生から一言、「おばさん

はリズムの早いのは苦手ね」生徒も敗

けていない「これ嫌い」。注文の多

い生徒達にもやさしい先生は最後に艶

やかで美しい声で「帰れソレントへ」

を唱ってくださいました。これで森の鳥達

も安眠するだろう！と思いきや、各部

屋に戻って

延々。どの

人の眼も楽

しさに輝い

てまるで高

校時代の修

学旅行みた

い。歌を愛

する人達は

明るく若い。

皆様も参加

なさいませ

んか。百聞

は一見に如

かず。

(平成十年七月実施)

軽井沢ゴルフコンペにて

8-1 小黒 昭彦

やれ頭が薄くなったの白くなったの、

腹がダブついてきたの、などなど普段

あまり面と向かつては言われないセリ

フを朝クラブハウスで顔を合わせたと

たんに浴びせられ、こちらもジャブを

応酬、たちまち気分は高校時代にタイ

ムスリッパ。私にとってこのコンペは



優勝など最初

から頭になく

プレーを楽し

み、そして毒

舌を交わしな

がら日頃のス

トレスを発散

させる特効薬

でした。とこ

ろが今回どう

間違ったか

カップを頂く

はめに、うれ

しいよりもた

だただビックリ、まわり

間もなくガラ

ガラとロクで

もないこと

をしやるのみ、人間つまらないと

ろで恥をかく

もんだと実感

。しかし還

暦すぎた今、

この催しが

私には一段と

心踊る待ちど

おしい行事

になってい

るは間違いあ

りません。ま

すます盛会

これからのワカバ会行事(募集中)

① 上野、谷中方面散策と
干支の折紙講習

期 日：平成10年11月17日(火)

参加費：4,000円

② ゲーム大会(第5回)

期 日：平成11年2月18日(木)

参加費：4,000円

③ 横浜散策

期 日：平成11年3月27日(土)

参加費：5,500円

※詳細はワカバ会にお問い合わせ下さい。

(平成十年九月実施)

科 目	平成9年度 決算額	平成10年度 予算額
I. 収入の部		
① 基本財産運用収入	1,160,646	1,000,000
② 会費・入会金収入	9,707,010	9,495,000
③ 事業収入	5,120,746	7,000,000
④ その他収入	6,121,237	8,990,000
当期収入合計 (A)	22,109,639	26,485,000
前期繰越収支差額	64,950,679	67,210,970
収入合計 (B)	87,060,318	93,695,970

科 目	平成9年度 決算額	平成10年度 予算額
II. 支出の部		
① 事業費	13,031,820	16,360,000
② 管理費	6,880,995	9,770,000
③ その他支出	6,533	200,000
当期支出合計 (C)	19,919,348	26,330,000
当期収支差額 (A)-(C)	2,190,291	155,000
次期繰越収支差額 (B)-(C)	67,140,970	67,365,970

平成9年度決算
平成10年度予算

理事会等報告

平成9年度

11月 理事会 出席15名

・各委員会報告

・会報42号発送報告

・新広報委員長選任

1月 理事会 出席13名

・各委員会報告

・70周年記念総会について

3月 理事会 出席15名

・各委員会報告

・パソコンの郵便番号、7桁表示へ

・70周年記念総会について

平成10年度

4月 理事会 出席15名

・各委員会報告

・70周年記念総会について

・9年度決算・10年度予算について

5月 理事会 出席12名

・各委員会報告

・70周年記念事業について

・評議員会 出席67名(委任状含む)

6月7日(日) 第61回ワカバ会総会
(70周年記念総会)

・総会議案承認

出席者四六四名

・9年度決算・10年度予算承認

7月 理事会 出席13名

・各委員会報告

・70周年総会報告、反省

委員会報告

総務委員会

平成10年度はワカバ会創立七十周年記念総会を開催し、盛会裡に終了することが出来ました。ご出席下さいました先生方、会員の皆様ありがとうございました。これを機に毎年のワカバ会総会にもお誘い合わせて、是非ご出席下さい。

事務局も若いスタッフの力を加えて一層充実して事務にあたっています。キースティションをご利用下さい。

委員長 竹内 和世(5-4)

鈴木美智子(9-3)

平山 孔嗣(29-2)

企画委員会

企画委員会は同窓生の皆様の親睦を計ること、見聞を広めることを目的として様々な企画を建てております。ご参加下さった皆様の間には、世代を超えた親しみ、連帯感が生まれているように感じられます。今後も皆様に喜んで頂ける催しをと考えておりますが、ご希望や良いプランをお持ちの方は、当委員会までお寄せ下さい。ご投稿お待ちしております。

委員長 佐々木 昭(5-ア)

中村左都子(7-2)

戸田 雅子(19-1)

事業運営委員会

昨年は久しぶりに、軽井沢山荘の利用者数が前年を上回り、喜んでおりましたが、本年は更なる増加が見込まれ、関係者一同嬉しい思いをしております。長引く不況、不順な天候と、余り良い話はありませんが、山荘だけは皆様のご協力で、活況を呈するよう願っております。大田区鶴の木の新駐車場も多少空いておりますので、こちらもよろしくお願い致します。

委員長 山口謙一郎(8-1)

杉本貴久子(16-オ)

竹内 和世(5-4)

中垣 俊二(8-2)

会計委員会

日頃維持会費の納入にご協力頂きまして有り難うございます。ワカバ会は基本財産、維持会費、山荘及び駐車場事業等からの収益により運営されておりますが、主柱である維持会費は現在でも約四分の一の会員が納入されているに過ぎません。維持会費の増収が財政の安定とワカバ会の活性化に是非とも必要です。今後とも会費の納入にご協力下さいますようお願い致します。

委員長 笠原 俊也(15-4)

松永佐智子(12-エ)

茨木 万理(19-エ)

平山 孔嗣(29-2)

ご 寄 付 御 礼

★井上嘉子様 (9-オ) より 500,000 円のご寄付がありました。感謝して会の発展のために有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

★故渡辺房子 (杉山) 様 (5-ア) のご遺志によりお嬢様の高田房枝様より 100,000 円のご寄付がありました。評議員としていつもお世話くださいました渡辺様を偲びつつ、御礼申し上げます。ありがとうございました。



詩・平石哲也 (33-4)
画・川村清史 (33-3)

広報委員募集!!

広報委員会では、『わかば』の企画・編集をご一緒にやってくださる方を探しています。企画・編集はもちろん、特集の取材・座談会等の企画などもできればなおよいです。

従来どおりですと、1 年間の仕事は、春号が 1 月の末頃から 3 月までの数回。秋号が 7 月中旬から 9 月まで数回の集まりといったところです。

交通費、手当など詳細はワカバ会事務局までお問い合わせください。

広報委員会

今年も『わかば』春号 (第 43 号) と

秋号 (第 44 号) の発行を行いました。

春号では七〇周年記念総会のお知らせ、また秋号では総会の概要と会員の近況などを中心に編集いたしました。年二回の発行になってしばらくたちますが会員の皆様のお役に立ってこそという気持ちで一同携わっております。今後ともご指導のほどよろしく願います。

委員長

田中 浩 (32-5)
村井 将子 (8-5)

追悼 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

所属	逝去年月	所属	逝去年月
吉村 朝子 (野崎)	2-B 平成10. 2	須藤 秀子 (若林)	14-A 平成10. 5
福島 須磨子 (杉)	2-D 9. 12	田口 愛子 (小林)	14-U 7. 9
関根 ふみ (関)	2-E 3. 6	近藤 順子 (亀山)	15-A 10. 4
安河内 敏子 (夜久)	3-A 9. 12	加藤 富子 (加藤)	15-U 9. 1
安田 久子 (藤井)	4-I 9. 3	小川 嘉津子 (出田)	15-E 10. 7
酒井 敬	4-U 9. 11	穴田 定子 (村上)	17-A 9. 3
中原 美佐子 (藤本)	5-U 10. 3	西村 きよ (大伴)	17-O 10. 6
藤崎 ミエ (富田)	6-A 9. 10	金子 昌子 (野間)	21-I 10. 8
栗原 月枝 (丸山)	6-I 9. 12	松川 和江 (会田)	23-5 10. 1
宇津 千代子 (宇津)	7-A 10. 1	岩上 利子 (仙波)	4-1 9. 6
山下 佐喜 (土師)	7-A 9. 12	久保田 恵子	4-6 9. 9
門井 倫子 (中村)	8-I 10. 2	内山 俊子	5-3 10. 6
西本 芳子	8-U 10. 5	青山 正子 (小池)	6-1 9. 5
高山 久子 (榎本)	8-O 10. 4	野沢 俊夫	12-7 10. 4
渋谷 康子 (富永)	9-O 9. 7	足立 とよ子 (奈良井)	14-2 10. 2
広瀬 久子 (栗原)	11-E 10. 7	清水 とよ子 (金井)	18-1 10. 4
下島 実子 (須田)	11-E 10. 2	大友 潤子	34-6 9.
山川 美代 (佐木)	12-E 8. 8		

維持会費納入のお願い

今年も維持会費を納入下さり、ご協力ありがとうございます。維持会費は年一回、会報「わかば」(春号)に郵便局の払込取扱票を同封して毎年お願いいたしております。尚、(秋号)には払込票は同封しておりません。

100枚限定!! 70周年記念オレカ

ワカバ会創立70周年を記念してオレンジカードを作成しました。一枚1000円(送料込)です。ご希望の方は事務局までご連絡ください。



***** 編集後記 *****

広報委員長を仰せつかって1年が経ちました。当初このような大役を私のようなものが果たしてできるのだろうかと心配していたのは、決してこの私自身だけではなかったことと思います。それでもなんとかこの『わかば』が発行できておりますのは、原稿をお寄せくださる会員の皆様ならびにワカバ会事務局の方々のおかげです。改めて御礼を申し上げます。

しかし現状を振り返ってみますと、今のところなんとか発行しているという感じは否めません。自分でも納得がいくっているわけではないのです。色々なご意見がおありでしょうが、もう少し時間をください。会員の皆様に喜んでいただけるような会報誌を目指してがんばります。

母校に赴任して6回目の白珠祭も終わり、今日は台風が足早に日本を縦断していきました。三田高校の周りでも秋の虫が鳴いています。今年もあと残りわずか。春号でまたお会いしましょう。

H.T記

◆ 強引な勧誘業者にご注意下さい ◆

最近また三田高校卒業生の職業別名簿を発行するという名目で往復ハガキで個人情報を集めようとする業者や、高額 of 広告を依頼してくる業者等があります。これら業者は、当ワカバ会とは一切関係がありません。

ワカバ会は会員のプライバシーを守ることを常に心がけております。皆様も言葉巧みな業者にはくれぐれもご注意ください。

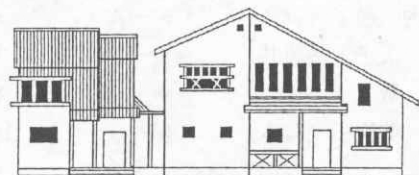
ワカバ会駐車場が 大田区鶴の木にあります

現在、空きがありますので、お近くにお住まいの方は、どうぞご利用下さい。駐車料金等詳しいお問い合わせはワカバ会事務局までお願い致します。

(所在地: 大田区鶴の木3-32-10)

ワカバ会軽井沢山荘より

南軽井沢にあるワカバ会軽井沢山荘は、昨年を上回るご利用お申込みをいただき、誠にありがとうございました。新幹線が開通し、軽井沢駅も南口が開発されて、山荘へ向かうタクシーの便もよくなりました。来年も7月中旬から9月中旬まで開荘する予定です。緑に囲まれた美しい自然の中でのひとときを来夏の計画に今から盛り込んでみられてはいかがでしょうか。皆様のお申込みをお待ち申し上げております。



カット 田澤志帆

事務局だより

本年は、ワカバ会創立70周年記念行事のためにたくさんの会員の皆様にご協力頂き、本当にありがとうございました。また、日頃は住所変更、逝去などのご連絡を頂き、正確なデータ確保をめざす事務局としては感謝いたしております。住所・電話番号・住居表示が変わった方、お友達の変更情報をお持ちの方は、お手数ですが、事務局まで一報下さるようお願いいたします。